

令和4年度の取組

◎学校給食への有機米の試験導入

令和5年2月と3月に1回ずつ試験的に市内小学校（4校）の給食へ有機米を導入しています。

使用量は以下のとおりです。

- ▶ 令和5年2月 108kg
- ▶ 令和5年3月 100kg



◎スマート農業の実演

井関農機株式会社及び株式会社牛セキ東北と連携し、有機農業実践ほ場にて除草効果が期待できる「アイガモロボ」、省力化が可能となる無人走行の「有人監視型ロボットトラクター」の実演を行いました。

また、令和5年3月20日には、「オーガニックビレッジ宣言」と同時に井関農機株式会社及び株式会社牛セキ東北と黒石市の3者による「持続可能な発展のための有機農産物の産地づくりに関する協定」を締結しました。

◎先進地視察の実施

黒石市と同じく米の産地であり、有機JAS認証における独自認証団体である山形県鶴岡市へ独自認証機関としての有機農業推進におけるメリット・デメリットや今後の推進体制等について意見交換しました。

また、有機JAS認証ほ場を視察し、チェーン除草やマガモによる除草抑制方法について、生産者と意見交換しました。



◎有機米を活用した加工品の試作

有機農産物（有機米）を活用した、加工品として甘酒を試作しました。有機JASマークを付与するための認証取得に向け改良を行っています。



◎（地独）青森県産業技術センター農林総合研究所と連携した 有機米「ムツニシキ」の栽培技術の実証

黒石市が寿司専米としてブランド化している「ムツニシキ」の有機化を目指し、栽培方法のマニュアル化すべく（地独）青森県産業技術センター農林総合研究所と連携し実証実験を行っています。

①種子消毒方法の実証

②病害虫対策における栽培方法の実証

データロガーの設置



防虫トラップの設置



除草調査用ボックスの設置

